



写真提供：静岡県観光協会

ふじのくに応援寄附金 (ふるさと納税) 令和6年度活用実績報告

 静岡県

令和6年度はふじのくに応援寄附金(ふるさと納税)として 2,663 件 200,355,777 円のご寄附をいただきました。心よりお礼申し上げます。

皆さまからのご寄附は大切に使用させていただきましたのでご報告します。

県民の防災意識の高揚	171 件 20,568,000 円	
<p>地震防災センターにおいて、来館者に対する体験学習や、各種イベントを利用した出張展示などにより、4万人を超える利用者に防災啓発を行いました。</p> <p>地震体験車を活用し、県事業及び市町等への貸出しにより、5万人以上の県民が地震の模擬体験を行いました。</p> <p>総合防災アプリ「静岡県防災」の改修によりトップ画面の表示改善や、避難行動登録の選択機能追加など、機能強化を図りました。</p>		
	移住・定住の促進	23件 1,899,000 円 <p>「“ふじのくにに住みかえる”静岡県移住相談センター」での相談業務や移住相談会・移住セミナーの開催、ホームページ等による本県の魅力発信に活用しました。</p> <p>このような取組を通じ、令和6年度の静岡県への移住者数は前年度を上回る 2,951 人となり、平成 27 年度の調査開始以降、過去最高となりました。</p>
南アルプスユネスコパークの保全管理と魅力発信	48 件 3,153,000 円	
<p>南アルプスの豊かな自然環境を守り、未来につなげるために創設された「南アルプス環境保全基金」に積み立て、南アルプスの貴重な動植物の保全や、南アルプスの魅力を発信する取組に活用しました。</p> <p>【具体的な取組例】</p> <ul style="list-style-type: none">・南アルプスの高山帯において、ニホンジカによる食害の影響により、お花畑の衰退が深刻化しているため、防鹿柵を設置し、被害の防止を図りました。・南アルプスユネスコエコパーク登録 10 周年を記念して実施した「南アルプスデジタル動画・写真コンクール」の入賞作による写真集を作成し、南アルプスの魅力の発信に活用しました。・YouTube に「みんなの南アルプス」チャンネルを開設し、南アルプスの魅力を伝える動画を配信し、自然環境の保全に対する意識の醸成を図りました。		
	スポーツの力で静岡を元気に！	29 件 3,556,000 円 <p>本県ゆかりの選手の活躍により、県民に「憧れ」を抱かせ、スポーツへの関心を高め、「見る」・「応援する」を含むスポーツの楽しさをもたらすため、県内競技団体と連携して、国際的な活躍が期待される選手 42 名の強化活動を支援することにより、国際・全国レベルのアスリートを育成するとともに本県選手の競技力向上を図りました。</p>

伊豆半島ユネスコグローバルジオパークの保全管理
41件 3,770,000円

伊豆半島ユネスコグローバルジオパークの環境を保全するとともに、観光資源として活用することで地域の振興につなげる取組を進めました。

主な取組として、ジオパークの自然・生態・文化資源への理解促進を図るため、市民参画型ワークショップを5回開催し、延べ236人に参加いただきました。また、ジオサイトをチェックポイントとしたロゲイニング大会を開催して、延べ138人に参加いただき、地域の活性化につなげました。



観光振興の推進 135件 23,968,000円

観光客の来訪と周遊を促進するため、主要都市における観光商談会の開催や、旬の観光情報を掲載したパンフレットの作成等により、県外旅行会社及びメディアに対し最新の観光情報を提供しました。

県内市町と連携して、地域における特色ある観光資源を活かした商品開発やプロモーションを実施しました。

観光施策実施の結果、令和6年の静岡県の延べ宿泊者数は、約2,300万人泊となりました。(観光庁「宿泊旅行統計調査」より)

駿河湾フェリーの利用促進 8件 303,000円

駿河湾フェリーを利用した県内周遊を促進するため、運賃割引キャンペーンや県公式観光アプリ TIPS と連携したプレゼントキャンペーンを実施し、計8,921人に利用いただきました。

船体黄金塗装に係るPR動画の制作や、清水港側ターミナルの移転に伴う情報発信等のプロモーションを実施しました。

上記取組により、R6.4月～12月の輸送人員は前年同期比+4,670人の、83,897人となりました。



芸術・文化の振興 26件 1,424,000円

静岡県立美術博物館建設基金に積み立て、令和8年度の開館40周年に向け、県立美術館のコレクションをさらに充実させ、未来へと伝えていくための取組を実施しました。

世界遺産富士山の保全管理 101件 6,900,000円

富士山の環境を守るため、富士山一斉清掃活動を実施している環境関係団体を支援しました。令和6年度は60kgのごみが収集されました。

富士山の保全を図るため、原因者不明等により撤去の見込みのない産業廃棄物の撤去活動を実施する団体を支援しました。令和6年度は2団体から補助金活用の申請があり、56.15トンの世界遺産区域内の廃棄物が撤去されました。

世界文化遺産「富士山」の保全と文化的価値の構成への継承を推進するため、「絶景・秀景富士山世界遺産写真コンテスト」を実施しました。





こどもの居場所づくり活動の促進 205件 25,288,000円

県内で活動する「こどもの居場所」に助成金を交付し、運営支援を行いました、令和6年度は78か所のこどもの居場所に支援を行いました。
 助成金を活用したこどもの居場所からは、「たこ焼きパーティーを開催できた」等の感謝の言葉がありました。

障害のある人の工賃向上の支援 28件 2,417,000円

障害のある人が働く事業所等を応援するため、ふじのくに福産品SDGsパートナー認定制度※の周知・広報に活用しました。令和6年度の認定企業数は前年度より11社増加して35社となりました。



※ふじのくに福産品(授産製品)の購入額等が30万円以上の企業・団体を認定

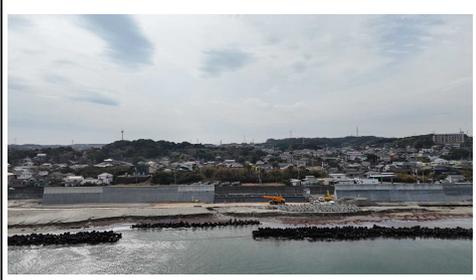
動物愛護の推進 49件 8,977,000円



- 動物愛護教室
動物の正しい飼い方や、動物とのふれあいを通じて命の大切さを学ぶ事業です。令和6年度は、県内の小学校等で37回実施し、2,304名に受講いただきました。
- 子犬・子猫をゆずる会
県が保護した引き取り手のいない子犬・子猫の新しい飼い主を募集するための事業です。令和6年度は9回実施し、子猫10匹の命を繋ぐことができました。
- 動物ふれあい訪問活動
県内の福祉施設等を訪問し、動物とのふれあいを通して潤いと安らぎを感じてもらうことを目的としている事業です。令和6年度は31回実施し、770人に動物とのふれあいを体験していただきました。

駿河湾や浜名湖など豊かな静岡の海を未来へ 60件 3,825,000円

「美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会」による海岸清掃を中心とした海洋ごみ削減活動、地引網体験、海の生き物観察会等、海に関わる体験イベントや展示を行いました。
 多様な主体が取り組む森・川・海等の清掃活動に対し助成し、延べ11,930人が清掃活動に参加し、計397キロリットルのごみ回収を行いました。
 アカウミガメの産卵環境の保護と上陸頭数・産卵数の調査を実施しました。



津波対策の推進 47件 8,084,000円

津波対策施設及び津波防護施設の整備に活用しました。
 海岸や河川において津波を防ぐための施設と、内陸部において背後市街地への津波による浸水拡大を防ぐための施設を整備し、整備地域の発災時の安全性向上を図りました。

環境と調和した社会の基盤づくり

8件 437,000円

地域での環境学習や保全活動のリーダーとなる人材の養成、資質向上を図る環境学習指導員等フォローアップ研修を開催しました。

研修は県内3か所で計50人が参加し、「地球温暖化」「自然共生」等をテーマに、講義と視察等により、最新の知見を得ました。

研修に加え、お互いの環境保全活動等の状況や活動を進める上でのアイデアについて意見交換を行うこともできました。

なお、参加者アンケートでは、全講座を通じて9割以上が「やや満足」「とても満足」と回答しており、今後の地域の環境学習の充実につながるものと考えます。



教育の振興(グローバル教育の充実)

22件 3,261,000円



○トビタテ！留学JAPAN「拠点形成支援事業」ふじのくにグローバル人材育成事業
静岡県の特性を踏まえた探究を伴う留学の支援により、将来、本県の発展のために活躍できる人材を育成する取組で、49人の高校生が世界各地で探究活動を行いました。

○グローバルハイスクール研究指定

学校の特色を生かした課題研究を中心に、海外の大学や研修機関等と連携してフィールドワーク等を実施する高校を指定しました。指定校6校が研究成果を学校内外で発表し、グローバル教育の理解促進や充実に繋がっています。

○海外インターンシップ

県内企業の国際業務について学びを深めるとともに、将来的に県内産業を支える人材として活躍する意識を高めるため、県内企業の海外支社や海外工場における就労体験等を実施し、22人の高校生が参加しました。現場を目の当たりにしたからこそ得られる貴重な学びの機会となりました。

教育の振興(「個が輝く」人材育成の推進)

21件 3,931,000円

○SDGsスクールアワードの開催

児童生徒が学校において実践している、SDGs達成に向けた取組を募集し、表彰しました(応募件数96件)。優秀事例の表彰・PR活動により取組の横展開を図りました。

○生徒企画の「ドリーム・プロジェクト」の実現

高校生が自らイベントを企画・運営する「ドリーム・プロジェクト」を実施しました。県立高校10校において、著名人を講師としたワークショップや地域と連携したイベント等、11件の企画を実現することができ、主体性や協調性、リーダーシップを育む機会となりました。

○未来を切り拓くDream授業・賀茂版の開催

賀茂地域の中学生29人が、地域資源(歴史などの資源)をテーマにした講義や、上原美術館(下田市)や伊豆ならんだの里 河津平安の仏像展示館(河津町)の見学・体験等に参加しました。地域の魅力や課題を再認識し、自身の将来について考える機会となりました。



	<p>安心医療の確保・充実 40件 5,786,000円</p> <p>県内外から多くの医師を確保するため、将来、県内の地域医療に貢献する医学生に対し、県医学修学研修資金の貸与を実施しています。加えて、高校生を対象としたセミナーの開催、医学生を対象としたメールマガジン等の配信、夏季セミナーや病院見学バスツアーなどの取組を行っています。</p> <p>これらにより、県内の医師数は着実に増加しており、令和2年から令和4年の2年間の人口当たり医師数については、全国平均の約2倍の伸びととなっています。</p> <p>また、医学修学研修資金利用者については、令和7年4月1日時点で、過去最多の759人の医師が県内で勤務しています。</p>
<p>健康寿命の延伸(大学院大学における社会健康医学研究の推進) 3件 56,000円</p> <p>社会健康医学研究を長期かつ継続的に推進するとともに、研究成果を広く還元する人材を養成するため、公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学に対して必要な支援を実施しました。</p>	
	<p>茶業の再生(茶の先端研究と多様な人々が連携した技術開発の推進) 16件 1,044,000円</p> <p>「世界市場を見据えた、茶の先端研究開発とオープンイノベーションの拠点」として、茶業研究センターの本館(新研究棟)を整備しました。整備によりAI解析や遺伝子解析技術などの研究開発機能が強化されました。</p> <p>民間事業者が入居できるオープンラボを新設し、茶の新たな活用方法や新商品開発に取組む企業等とのオープンイノベーションによる研究開発を推進していきます。</p>
<p>「人」と「富」の創出による経済の持続的な発展 14件 1,379,000円</p> <p>「ファルマバレープロジェクト」の中核支援機関である(公財)ふじのくに医療城下町推進機構(ファルマバレーセンター)が実施する、人材育成セミナーをはじめ、企業のマッチングや新たな製品開発に向けた支援活動等に活用しました。</p> <p>その結果、令和6年度は、医療健康産業を牽引する産業人材を41人育成し、医療機器など新たに14の製品が開発されました。</p>	
<p style="text-align: center;">県政全般 418件 41,661,000円</p>	

静岡県では、「幸福度日本一」の実現を目指して、様々な取組を行っております。今後も「ふじのくに応援寄附金」により、ふるさと“ふじのくに”への応援をよろしくお願いいたします。

静岡県ホームページ「ふじのくに応援寄附金」



【お問合せ】

静岡県財務部税務課企画管理班

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号

電話番号:054-221-2974 FAX:054-221-3361

E-mail:furusato@pref.shizuoka.lg.jp